



2020年9月29日

生活困窮者への食品提供をつうじた社会貢献活動の強化について ～社会福祉法人千葉県社会福祉協議会・フードバンクちばと包括連携協定を締結～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2020年9月29日（火）、社会福祉法人千葉県社会福祉協議会（会長 石渡 哲彦、以下「県社協」）およびフードバンクちば（代表 菊地 謙）と「食品提供等に関する包括連携協定」を締結し、生活困窮者への食品提供をつうじた社会貢献活動を強化します。

県社協およびフードバンクちばでは、家庭で余っている食品の寄付を呼びかけるフードドライブなどの活動をつうじて生活困窮者支援やフードロス問題に取り組んでいます。当行も、これまで賞味期限の近づいた災害用備蓄品の寄贈をつうじてこうした活動に協力してきましたが、このたびの協定締結により、地域の生活福祉向上を目的とした連携を一層深化させていきます。

当行においては、SNSや広告物を活用し、役職員やお客さまに対するフードドライブの理解浸透と協力者の裾野拡大を促すための周知活動を行っていくとともに、株式会社フレッシュファームちば^{※1}より購入した農産品や株主優待制度で取得した食品等を毎年フードバンクちばに寄贈してまいります。

当行は、昨年5月に「ちばぎんグループSDGs宣言」^{※2}を公表し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいます。今回の社会貢献活動にはグループのちばぎん証券株式会社（取締役社長 木村理）も賛同を表明しており、本日、同様の三者間連携協定を締結しました。

当行は、今後もグループを挙げて地域の社会・環境課題の解決に貢献してまいります。

【連携項目】

- (1) 生活に困難を抱えた個人・世帯に対する食品の提供
- (2) フードドライブによる食品の募集活動
- (3) SNS・広告物等を活用した広告活動の推進

※1 当行が地域企業等15社との共同出資により設立した農業法人。

※2 地域が抱える社会・環境問題の認識やこうした課題に対する当行グループの取組方針をまとめたもの。

以上